

医療用品 04 整形用品
一般医療機器 手術用被覆・保護材 34654000
(救急絆創膏 34864000)

メピレックス ボーダー Post-Op

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 構造

本品は、背面フィルム、吸収パッド及び創面接触層からなる被覆・保護材である。

2. 材質

ポリウレタン、ポリエステル、シリコーン（創面接触層）、アクリル

3. 原理

創面からの出血及び滲出液は本品のシリコーンコーティングされた創面接触層の孔を通り、吸収パッドに保持される。吸収された滲出液等の一部は背面フィルムから外へ蒸散される。背面フィルムは微生物バリア性及び防水性を併せ持つ。背面フィルムは透明なポリウレタンで、吸収パッド周辺の皮膚が観察できる。

【使用目的又は効果】

傷や術後創傷のために用いる適切なサイズの被覆・保護材である。

【使用方法等】

本品は、剥離フィルムのフレームなしと、フレームありの形状がある。

1. 前処置

- 本品を被覆する前に、通常の方法により創傷部を十分洗浄する。
- 創傷部の周囲を十分に乾燥させる。

** 2. 使用方法

フレームなし

- 本品を滅菌袋から取り出す。
- 創周辺皮膚の浸軟を防ぎ、本品をしっかりと固定するため、創傷の創縁部より2cm被る適切なパッドサイズの製品を選ぶ。
- 中央の剥離フィルムを剥がし、接触面を創傷部に当てて本品を初期固定する。長いほうから、しわが入らないようにゆっくりと剥離フィルムを取り除く。貼付するときには、本品を伸ばさないように注意する。

フレームあり

- 剥離フィルムが1枚のドレッシング材の場合、剥離フィルムの一部または全部を剥がす。剥離フィルムが2枚あるドレッシング材の場合、小さな剥離フィルムを部分的または完全に剥がし、次に大きな剥離フィルムを部分的または完全に剥がす。
- ドレッシング材の接着面を創部に貼り付け、ドレッシング材を初期固定する。ドレッシング材にしわが寄らないように、もう一方の手でドレッシング材を平らにならしながら、残りの剥離フィルムを剥がす。ドレッシング材を引っ張ったり伸ばさないこと。
- ドレッシング材の枠をつかみ、ミシン目を切り離す。
- ゆっくりと枠を外す。もう一方の手でドレッシング材を平らにし、端を固定する際にしわが寄らないようにする。連続使用期間は4週間を越えないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 本品の使用時、創傷部に本品が原因と推察される臨床的感染が起きた場合には使用を中止し、適切な治療を行うこと。また、患者の全身状態の悪化、全身管理の不足等によっても、創傷部に感染症状が現れることがある。感染の兆候に十分注意し、臨床的感染が認められた場合には、原則として使用を中止し、適切な治療を行うこと。
- 本品使用中に皮膚障害と思われる症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な治療を行うこと。
- 本品の原材料に対するアレルギーが既知の患者に使用しないこと。

2. 不具合・有害事象

一般的な創傷被覆・保護材の使用における「有害事象」

<その他の有害事象>

- 創の感染症状
- 創傷及び周囲の皮膚障害（表皮剥離、浸軟、浮腫、水疱、発赤、びらん、そう痒、アレルギー、接触性皮膚炎）
- 固着
- 壊死組織の増加
- 疼痛

3. その他の注意

- 本品をカットしないこと。
- 創腔へ使用しないこと。
- 本品は滅菌済みで、包装に破損等がない限り無菌性は保証されるが、使用前に包装が破損又は汚損している場合には使用しないこと。
- 本品は開封後、直ちに使用すること。
- 本品を再滅菌しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。使用期限は包装に記載（自己認証による）。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：メンリッケヘルスケア株式会社
電話：03-6914-5004